

目薬について



眼科ではよく処方される点眼薬ですが、よくある質問を中心に基本的な事柄について説明します。

Q1 目薬は1回に何滴くらい点眼すればよいの？

目薬は1回に1滴で十分です。たくさんさしてもこぼれてしまうか、鼻涙管を通って鼻へ流れていってしまいます。1滴でも鼻へ流れていくのを防ぐため、点眼後に目を閉じて目頭を指で押さえるとよいでしょう。また2種類以上の目薬を使用する場合は、5分位あけて点眼してください。続けてさすと、薄まったり流れていったりして薬の効果が十分に得られなくなってしまいます。

Q2 目薬はどのくらいの間隔でさせばよいの？

特に時間の指定がない場合は、起きている間に指定の回数で等間隔でさすようにしてください。1日4回であれば4～5時間おき(例えば朝7時・昼12時・午後5時・就寝前など)に使用してください。就寝前は寝る直前ではなく、寝る5～10分前に点眼するようにしてください。

Q3 目薬を使うときの注意は？

薬を清潔に使いましょう。使用前に手を洗い、点眼容器の先が睫毛やまぶた、眼球などに触れないように注意して使いましょう。不潔にすると細菌が入って繁殖し、わざわざ目に細菌を入れていることになってしまいます。(目薬のさし方(例):清潔な指で下まぶたを引っ張って、容器の先が睫毛などに触れないよう点眼します。)



Q4

目薬はどのくらいもつの？

病院でもらう目薬は、開封後は1～2週間を目安に使いましょう。1ヶ月以上たったものや色が変わっている場合などは変質している可能性があるので使用しないでください。散薬や錠剤などを溶解して使用するものの中には使用期限がもっと短いものもあるので注意しましょう。また開封前であれば、使用期限・有効期限が表示されているものであれば、それが目安になりますが、きちんとした状態で保管された場合の期限ですので、1年位を目安としたほうが無難です。

Q5

目薬の保管方法は？ 冷蔵庫がいいの？

一般に目薬は光や高温を嫌います。特に一度開封した目薬は、キャップをきちんと閉めてできるだけ涼しい場所に保管してください。特に暖かい場所や直射日光のあたる場所(テレビの上、窓際、車の中等)には置かないようにしてください。専用の遮光袋があるものはそれを利用しましょう。また冷蔵庫で保管することは、ほとんどの場合は問題ありませんが、凍らせないようにすることと、目薬の中には冷蔵庫でも結晶が出てしまうものもあり、室温保存のものもあるので注意書きを確認してください。また、子供の手が届かないようにすることや、水虫や湿疹の薬など容器の似た目薬以外の薬剤ともしっかりと区別して保管するようにしてください。

大切な目を守り、せっかくの薬を効果的に使うためにも、正しい点眼を行いましょう。わからないことがあれば、気軽に医師・薬剤師などに相談してみましよう。

